

日田高校 New「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」

令和2年7月27日

コロナウイルスはすぐそこまで来ているかもしれない。
自分はずでに感染しているかもしれない。
自分を含めた全ての人の「命」「夢」「未来」を守る。

【感染防止のポイント】

- 飛沫感染を防ぐ
- 接触感染（共有物、他者に触れた手で目、鼻、口などの粘膜に触れる）を防ぐ

実践8箇条

- ① 体調が悪い時は休む。
- ② 距離をとる。（2メートル、最低でも1メートル）
- ③ 触れない。ひっつかない。（他者・教材）
- ④ 向き合ってしゃべらない。（しゃべらなければいけない場合はマスク等着用）
- ⑤ つばを飛ばさない。つばを受けない。（マスク着用・咳エチケット）
- ⑥ 手を洗う。うがいをする。（教室に入室する際は必ず手指消毒を行う）
- ⑦ 顔を触らない。
- ⑧ 空気を読む。（換気・状況判断・「うつされたら/うつしたら」の想像力を働かせる）



注意①「体調が悪い時は休む」

- ※コロナウイルス感染に見られる症状 発熱・咳・鼻水・鼻づまり・倦怠感・味覚障害など（いわゆる風邪症状）
- ・毎朝、必ず検温し、朝礼時に用紙に記録して担任に提出する。上記症状がある場合は登校しない。（出停扱い：感染などの可能性がある場合、学校の判断で登校させない）
- ・登校時など教室入室の際には必ず手指消毒を行う。
- ・発熱が続く場合はかかりつけの病院か発熱外来を受診し、PCR検査を含め医師の診断に従う。受診後は必ず担任に報告する。
- ・検温を忘れた場合は朝礼時に保健室に行き検温する。
- ・登校中に体調の異常を感じたら速やかに保健室に行く。上記症状がある場合は早退する。

注意②「距離（2メートル、最低でも1メートル）をとる」

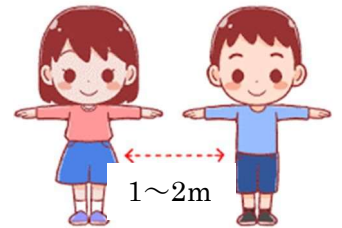
- ・休み時間や街中等日常生活全般において。

注意③「触れない／ひっつかない」

- ・この非常事態においては「ひっつく」ことが「友情」ではない。むしろ逆。
- ・他者と共有するもの（教材・運動具等）に触れた場合は必ず手洗い。

注意④「向き合ってしゃべらない」

- ・特に休み時間、昼食時、部活動時注意。
- ・授業中の教室などで距離が取れず、話す必要がある場合はマスクを着用する。



注意⑤「つばを飛ばさない／つばを受けない」

- ・マスクを着用する。ただし、熱中症の危険がある場合は外してもよいが、対面でしゃべらない。
- ・マスクがない場合は咳エチケットを守る。
- ・特に校外で重傷化リスクが高く不安を感じている人が周りであることを忘れない。

注意⑥「手を洗う／うがいをする」

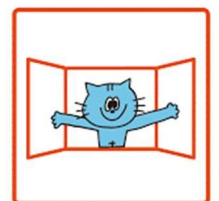
- ・できるだけ頻繁に行う。特に他者や共有の教材などに触れた場合は必ず。
- ・洗面所で密の状態にならないよう気をつける。

注意⑦「顔を触らない」

- ・触れるだけでは感染しない。触れた手で顔（目、鼻、口等の粘膜）を触ることが危険。

注意⑧「空気を読む」

- ・教室等の換気に注意する。冷房中も窓を開けて空気が流れるようにする。
- ・自分の置かれている状況を判断する。



換気しよう
#OpenWindow

状況によっては今後の行事(クラスマッチ・響櫓祭など)の中止も考えなければならなくなることを念頭に置いた行動を！